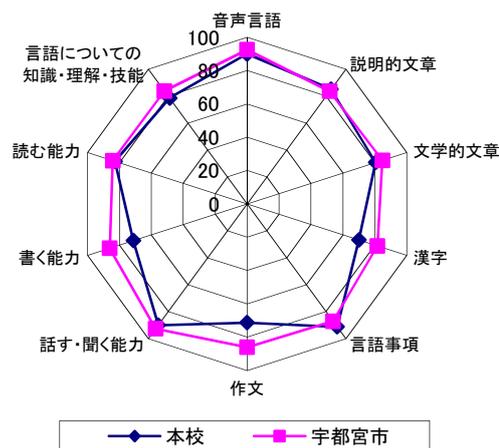


# 宇都宮市立平石北小学校第4学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	90.0	92.6
	説明的文章	85.0	83.7
	文学的文章	80.5	84.7
	漢字	70.0	81.6
	言語事項	91.3	87.0
	作文	71.3	86.1
観点別	話す・聞く能力	90.0	92.6
	書く能力	71.3	86.1
	読む能力	82.8	84.2
	言語についての知識・理解・技能	78.5	83.8



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (90.0%)	・平均正答率は、90.0%と市の平均正答率より低い。「話の中心の聞き取り」「話の内容の聞き取り」は、よくできる。「話し方の工夫の聞き取り」の正答率が低い。	・普段から、相手や目的を明確に意識しながら、友達の話や話を聞くようにする。質問も、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を質問をするよう意識付けを図っていく。
説明的文章 (85.0%)	・平均正答率は、85.0%と市の平均正答率より高い。「文脈に即した内容の理解」は、よくできる。「段落の役割の理解」はに課題のある児童が多い。	・授業の中では、文脈に即して内容が理解できるよう、音読を中核に据えながら、丁寧に読解指導を行う。また、段落の役割について考えながら、文章を読む学習も行い、多くの練習問題に取り組んでいく。
文学的文章 (80.5%)	・平均正答率は、80.5%と市の平均正答率より低い。「登場人物の様子」は、よくできる。「場面の移り変わり」に関する問題で正答率が低い。	・朝の読書や休み時間などを利用しての読書などで、多くの物語文に触れるようにする。授業の中では、場面の移り変わりを丁寧に読み取る学習を継続して行う。問題に慣れるため、練習問題も利用する。
漢字 (70.0%)	・平均正答率は、70.0%と市の平均正答率を下回った。学習直後の定着率は比較的高いが、時間の経過とともに忘れてしまっている。	・漢字小テストを今まで以上の頻度で行い、知識の定着を図る。家庭学習でも、漢字ドリルのまとめのページ等を利用して反復練習を行い知識を定着させる。
言語事項 (91.3%)	・平均正答率は、91.3%と市の平均正答率より高い。「修飾語」や「ことわざ」は、よくできる。「主語と述語」に関する正答率が低い。	・文章の中で「主語と述語」の取りたて指導を行う。教科書で基本事項を確認した後、多くの練習問題を行い、知識の定着を図る。
作文 (71.3%)	・平均正答率は、71.3%と市の平均正答率より低い。手紙文の書き方の基本事項については、概ね理解できるが、「手紙文の後付け」を書くことができない児童が多い。	・作文では、言語知識や漢字を実際に適切に使うことができるよう指導していく。また、作文の型も平行して指導していく。手紙文に関しては、実際に手紙を書く機会を多くもち、手紙を書き慣れるようにする。